

2005年度（平成17年度）第5回常務理事会記録

日 時：2005年（平成17年）12月4日（日）11：00～14：00

場 所：八重洲倶楽部第9会議室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、合力靖博（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2005年（平成17年）度第4回常務理事会記録、同摘録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

（1）会員異動報告（正会員2,188名 平成17年11月28日現在）

平成17年9月分（入会者 正会員2名、学生2名、退会者 正会員4名、学生2名）、平成17年10月分（入会者 正会員4名、学生4名、退会者 学生2名、）

（2）学術集会開催校について

解剖誌において募集をおこなっていた2008年度（平成20年度）、2009年度（平成21年度）の総会・全国学術集会開催希望校については期限の9月末日になっても申し出がなく、過去の開催履歴、地域等を参考にして、候補となる大学に打診をおこなうことが決定された。

（3）「日本学術会議協力学術研究団体」への移行措置に係わるお願い

標記文書が日本学術会議より届き、廃止された従来の「登録学術研究団体」にかわり、「協力学術研究団体」として登録するよう要請があった。これを受けて平成17年10月28日付で「協力学術研究団体申込書」を学術会議会長宛に提出した旨、報告がおこなわれた。

（4）日本学術会議の新体制等について

日本学術会議の新体制移行に伴う連携会員候補者の推薦方法についての説明、および分野別委員会の下に設置すべき分科会として従来の解剖学研連に相当する「形態科学分科会」を提案したこと等の報告が廣川理事長（学術会議会員）からおこなわれた。

（5）学会宛文書等

①通知・依頼：

i)日本医学会より「平成17年度日本医学会分科会助成費の交付について」：この交付金については解剖学会に対して11月18日付で20万円の交付がおこなわれている。その他4件。

ii)文部科学省より「平成17年度公益法人概況調査」等の実施について（依頼）：既に提出済である。その他3件。

iii)日本学術会議より「日本学術会議協力学術研究団体」への移行措置に係わるお願い他2件。

iv)(独)科学技術振興機構より「解剖学雑誌ご寄贈の依頼について」他1件。

v)特許庁より「特許法第30条第1項(実用新案法第11条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づく指定学術団体の活動状況調査について(依頼):既に提出済である。その他に9箇所より11件の通知・依頼が届いている。なお賞受賞候補者推薦依頼等については解剖学会ホームページに掲載済である。

②書籍、定期通信他:9箇所より9件の書籍、定期通信等が届いている。

(6) その他

①ホルマリン対策の状況、遺体を使用しない解剖学教育につき報告があった。この件については教育委員会と解剖体委員会に付託することが決定された。

②コ・メディカル養成校の人体解剖実習についての要望。理学療法士、作業療法士の養成校から人体解剖実習をおこないたいとの要望が出ているとの報告があった。

③宝島社よりの「原寸人体図鑑」の作成に関する協力依頼。この件については学会としての協力はおこなわず、順天堂大学坂井教授を紹介することにした。

2. 編集報告(柴田編集担当理事)

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告

両誌とも第80巻4号が順調に刊行されている旨、報告がおこなわれた。

(2) 平成18年度科研費補助金申請

ASIに関し標記補助金の申請をおこなったことが報告された。

3. 企画・渉外報告(河田企画・渉外担当理事)

(1) 平成17年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞候補者公募

平成17年度奨励賞に対しては5件の応募があり、奨励賞選考委員会において審査がおこなわれる予定である。組織技術士功労賞候補者の推薦は締め切りが12月末日であり、現在募集中である。

(2) 第110回日本解剖学会総会・全国学術集会事業報告

標記総会・全国学術集会大谷修会頭より事業報告書が提出された。参加者は市民講座を含め合計1,700名超、総演題数662題であった。

(3) 第111回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

標記総会・全国学術集会山科正平会頭より準備の進捗状況の文書の提出があり、それをもとに報告がおこなわれた。

4. 会計報告(澤田会計担当理事)

(1) 平成17年度中間決算報告

標記の件につき報告がおこなわれた。現在のところ、大きな問題はなく推移している。

(2) 第110回日本解剖学会・全国学術集会収支決算報告

大谷修会頭より送付された標記決算書をもとに、報告がおこなわれた。

III. 審議事項

1. 永年会員の推薦

候補者一覧が提示され、原案どおり承認された。

2. ASI 経費値上げおよびブラックウェルとの契約更新について

継続審議となっていた標記事項について、Blackwell Publishing Asia との交渉の結果新たな案が Blackwell 側から提示され、団体会員となっている図書館の扱いについて確認する必要があるとされた点を除き、基本的には承認された。これによると出版費の値上がり額は初年度で 100 万円以下に、次年度以降は約 50 万円になる。また ASI 表紙に“Blackwell Publishing”“Blackwell Synergy”の語とそれぞれのロゴマークを入れた旨の提案があり、了承の上、理事会に諮られることになった。

3. 解剖学雑誌の寄贈願いについて

(独) 科学技術振興機構 (JST) よりデータベース収録のため解剖学雑誌一部を継続的に寄贈して欲しいとの要望が届いた。この件について審議がおこなわれ、承認された。なお収録事項は標題、著者、著者所属機関、掲載誌等の書誌事項、抄録、索引等で全文を収録することはないとのことである。

4. 口腔保健協会よりのオプション事務手数料の請求および事務委託費の値上げの件

口腔保健協会より、理事選挙事務手数料他 2 件のオプション事務手数料の請求があり、審議の結果、了承された。なおオプション業務は契約書に終了後、その都度請求となっているものである。また口腔保健協会より事務委託費について月額 2 万 1 千円値上げしたい等の希望が提出された。この件については高田、澤田両理事が交渉にあたることが決定された。

5. 平成 18 年度事業計画 (案)

標記 (案) が提出され、審議の結果了承、理事会に提案されることになった。

6. 平成 18 年度仮予算 (案)

標記仮予算 (案) が提示され、一部標記を訂正の上、承認され、理事会に諮られることになった。

7. 教授就任による申請学術評議員

福岡大学医学部解剖学講座立花克郎教授 (就任日 2005 年 4 月 1 日) より標記申請があり、承認された。なおこの教授就任による申請学術評議員の件は理事会の承認まで待っていると時間がかかるため、問題のない場合には常務理事会に一任して頂きたい旨の提案を理事会に対しおこなうことが決定された。

8. 科研費審査委員の情報提供について

標記審査委員については昨年度より、学術会議が直接関与せず、学術振興会がデータベースを作成しその中から選ぶ方式に変わっている。昨年度は依頼により候補者

のリストを作り、提出したが、今年度については学術振興会に問い合わせたところ、12月1日の時点で未定との返事であった。したがって今年度はもし今後、追加登録の依頼が来ても時間的余裕がない場合は、従来の選挙の手順は踏まらずに対処することを理事会に提案することになった。

9. その他

(1) 少量核燃料物質の規制に関する検討（案）

主として電子顕微鏡の試料作製に使用するウランに関して標記規制に対する検討が関連学会の間でおこなわれてきたが、その検討案の概要が示され、了承された。

(2) 会議記録の公表に関して

平成17年度総会・学術評議員会、第3回理事会の会議記録のホームページへの掲載は本来次回理事会での確定を待っておこなうべきであるが、役員の登記の際に必要であったため、掲載がおこなわれた。これに関し、もし変更点があれば、その点について追加訂正し、その旨明示するとの提案がなされ、了承された。

(3) 口腔保健協会担当職員の交代について

口腔保健協会の解剖学会担当の合力靖博氏が平成18年1月末で退職することになり、既に後任も決まり引き継ぎをおこなっているとの報告があった。

(4) 次回・次々回開催日について

次回常務理事会は2月1日（水）14:00～東大において、次々回は解剖学会全国学術集会開催日の前日の3月28日（火）13:00～北里大において開催されることが決定された。